Wood connect project 2022

～「みなまたＭＯＹＡＩＳＴ」によるコミュニティ・マネジメント～

熊本県立水俣高等学校電気建築システム科建築コース

Wood Connect Projectは、2018年にスタートして今年で5年目なんだ。
建築コースが地域の課題解決のために、様々な機関と連携して、必要な建築技能などの資質・能力を獲得し、ＳＤＧｓの目標達成を目指す取組みだよ。

水俣高校公認ゆるキャラ
水公さん

水俣の山の現状

森は海の恋人

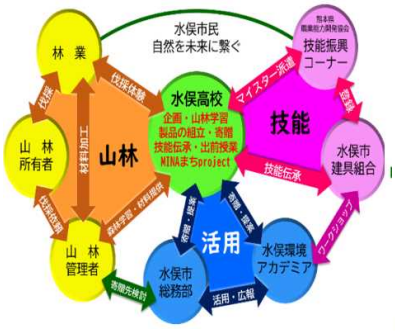
建築コースSWOT分析

内部環境の強み（S）	内部環境の弱み（W）
・連携事業により、意識が高まり、建築関係に進路を決める生徒が増えている ・教師がそれぞれ得意な専門分野に分かれている ・探究活動を通しての環境学習、特にＳＤＧｓについて学んでいる	・建築コースの生徒が年々減少している ・依頼を受けすぎる、一部関係者に偏っている ・製品を製作し寄贈するのみで、探究活動になっていない
外部環境支援的要因（O）	**外部環境阻害的要因（T）**
・水俣環境アカデミアとの連携事業を継続している ・水俣市建具組合より、技術指導の機会ができた ・地元企業より材料提供がある ・森林が豊かで、伐採体験の機会提供がある	・外部機関からの依頼が年度途中にあり、授業変更など対応に苦慮している ・依頼が様々な所からあり、対応が大変である ・教師や生徒の手間が増え、材料や予算の問題がある

ビジョンを明確に

めざす姿に向け
戦略マップを作成
①目指す姿を共有
②課題発見・解決
③持続を可能に

相関図を作成する



学びの地図

２０１８，１９は木製ベンチ
２０２０は資源箱（容器包装プラスチック）
２０２１は水俣市役所新庁舎
キッズコーナー製作

Wood Connect Project2022

「みなまたＭＯＹＡＩＳＴ」による

コミュニティ・マネジメント

ＭＯＹＡＩＳＴ（モヤイスト）　もやい結びの造語
建築コースが地域をつなぐという意味
水俣環境アカデミアと共通目標

６つのアクションプログラム

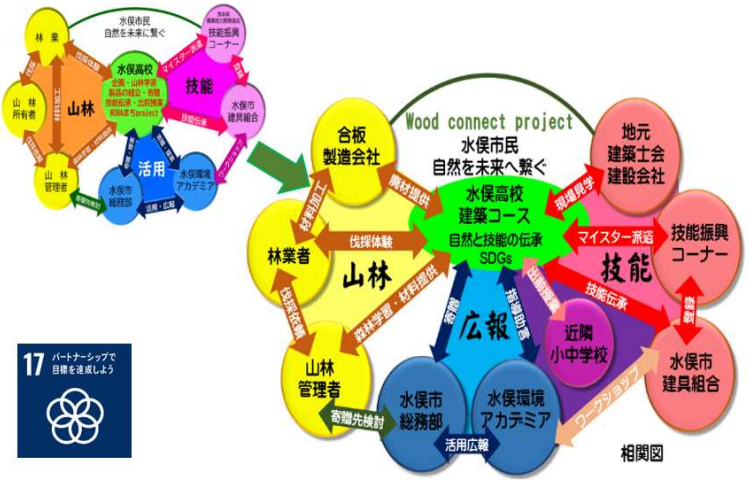
気付く
伐採実習
山や木の学習
現状を知る

考える
建築現場見学
建築への学び
見て触れて学ぶ

教える
作品製作
出前授業
コミュニケーション

作る
加湿器
ワークショップ
協力と協働

習う
ものづくり
マイスター
技能の伝承

発信する
建具パンフレット
ラック
市内中学校へ寄贈

建築コースがハブに！大きくなる相関図